

城陽市障がい者自立支援協議会

第23回 療育部会報告書

報告者 部会長 障害児（者）地域療育支援センターういる 大蔵 寛子

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成29年 1月 19日（木）10:00～11:30
場 所	福祉センター 2階 第2会議室
出席者	城陽市福祉課 城陽市教育委員会学校教育課 相談支援事業所（障害児（者）地域療育支援センターういる） サービス提供事業所（城陽市社会福祉協議会訪問介護センター、ヘルパーステーションそらいろ、シンクワズライフオフィス汽車ぽっぽ、放課後デイサービスきりん、ものづくりスペースみんななかま、城陽市立ふたば園、わいわいプラス城陽教室・寺田教室）
検討課題	放課後の過ごしについて 次年度に向けて

【議事録】

1. 放課後の過ごしについて

●学童保育所の現状等について [子育て支援課より]

城陽市内の各学童保育所の利用者数、障害をもっている子どもの受け入れ状況、加配対応について、学童の連携について報告。

学童保育の集団規模が大きくなり利用しづらい意見が保護者から多く聞かれているが、放課後等デイサービスと学童保育所、双方を上手く利用しながら育ちを考える視点が必要との意見が出る。

●福祉サービス事業所の利用状況等について [各事業所より]

次年度の新規利用希望者受け入れ状況、待機者の現状について各事業所より報告。昨年度に引き続き、新小学1年生（地域の小学校入学予定）の放課後等デイサービスの利用希望が多い。

※新規事業所「わいわいプラス富野教室」が4月もしくは5月オープン予定、新小学1年生を中心に受け入れ準備中

2. 次年度に向けて

放課後等デイサービスの利用ニーズが増加している中、放課後等デイサービスの役割や適切なサービス利用についての検討をしていきたいとの意見あり、保護者支援の視点も含めた福祉サービスの適正利用について次年度の協議課題とする。

3. その他

- ・アイリスノート（支援ファイル）の活用について

福祉課より、事業所新規利用時にアイリスノートを活用して頂きたい、保護者にも活用について
インフォメーションを、配布は福祉課にて実施。

ふたば園では、アイリスノート子どもの目のつくところにおけないと保護者より意見あり、カバ
ーの変更提案やサポートブック（サマリーのような一枚もの）作成し配布している。

- ・次回 平成29年 5月頃予定

以上